

津幡町 10大ニュース

第1位 姉妹で快挙 レスリング世界選手権 川井梨紗子選手金メダル、 友香子選手銀メダル



10月にハンガリーで行われた「レスリング世界選手権」女子59キロ級に日本代表として出場した川井梨紗子選手(緑が丘出身)が優勝、同じく女子62キロ級で妹の友香子選手が準優勝しました。

梨紗子選手は全試合を圧倒的な強さで勝利し、「優勝できてほっとしている。連覇ではなく、勝てたことが嬉しい」と語りました。今回の優勝により、昨年の世界選手権60キロ級、2016年リオデジャネイロオリンピック63キロ級とあわせ、3年連続の世界一となります。

友香子選手は惜しくも準優勝でしたが、世界の強豪を相手に厳しい対戦を勝ち上がり、著しい成長ぶりを見せました。「世界で初めてメダルをとれたが、最大の目標は姉と2人で五輪に出ること。もっと練習し、目標を達成したい」と更なる飛躍を誓いました。

第2位 交通、物流が大混乱「12年ぶりの大雪 生活を直撃」

道路は大渋滞、鉄道も運休が相次ぎ、通勤・通学に大きな影響が。町の積雪量は最大182cmを観測、昼夜を問わず雪かきを余儀なくされました。

第3位 スカイランタン、刀剣展など記念事業で盛り上がり「俱利伽羅山 開山1300年」

御本尊の特別開帳や記念大法会のほか、音楽フェスやアカリート、刀剣展などの特別イベントが催され、「初めて訪れた」と言う若者たちで賑わいました。

第4位 笑いの力で町おこし「津幡町・よしもと包括連携協定締結」

町民サービスの向上や、地域の活性化を図るため連携・協働していくことを定めたもので、この協定に基づいて新喜劇など各種イベントが展開されます。

第5位 “墓を継ぐ者がいない…” 焼骨を共同で埋葬・管理「津幡町合葬墓 完成」

合葬墓は遺骨を共同で埋葬し、町が永年管理する新しい形態の墓地です。「墓守がない」「子どもに負担をかけたくない」というニーズに応えます。

第6位 住んでよかったと実感できるまちづくり「矢田富郎町政 3期目始動」

新庁舎整備や体験型観光交流公園、屋内温水プール、河合谷宿泊体験施設などのビッグプロジェクトが今期から一気に始動します。

第7位 まんがで大河ドラマ誘致の機運醸成「ぼくらの義仲物語 完成」

津幡弁で話す現代の小学生が、俱利伽羅峠の戦いを学びながら友だちとの絆を深めていく内容で、公民館や図書館で閲覧できるほか、100円で購入もできます。

第8位 津幡駅東口の整備と新駅設置実現へ「期成同盟会 発足」

交流・定住の拡大や企業誘致を図り、地域の発展につなげるため、「玄関口」となる津幡駅東口の整備と、津幡・俱利伽羅駅間の新駅設置を目指します。

第9位 全日本トランポリン競技選手権大会「太村成見選手、田中結子選手 団体戦優勝」

東京五輪を2年後に控えた国内最高峰の舞台で、2人は金沢学院大クラブのメンバーとしてチームの団体優勝に貢献しました。

第10位 ビジネス、観光の個人客に対応「俱利伽羅塾 個室棟を増築」

10畳の和室8室で運用していましたが、増加する個人利用に対応するため、シングル4室を増築したほか、ツーリング客向けに駐輪場棟も新設しました。



幻想的な光景に大勢の来場者(スカイランタン)



県下2例目、新しい形態の墓地(合葬墓)

次点 中条小の女子と津幡南中の男子が県No.1に「小中学生 駅伝で活躍」、加賀藩前田家との密接な関係を示す重要史料「俱利伽羅長楽寺文書 町指定文化財に」

抽選結果 (1,000円分のドレミファお買物券を進呈)

寺井 明夫(湯 端)、岡田 穂波(能 瀬)、坂下 葉子(御 門)、長谷 唯杏(能 瀬)、岩脇真知子(湯 端)、水本 好美(湯 端)、水野 道代(五反田 押切 幸子(川 尻)、田中由美子(浅 田)、西村 富子(南中条)、鳥羽 恒夫(井上の莊)、大熊 邦子(清 水)、新宅美智子(津 幡)、松本 義隆(岩 崎) 高崎千恵子(領 家)、岡本 外治(庄)、大岩 幸子(湯 端)、松下 共子(湯 端)、田中 久一(津 幡)、山崎由紀子(上矢田) 応募総数168通